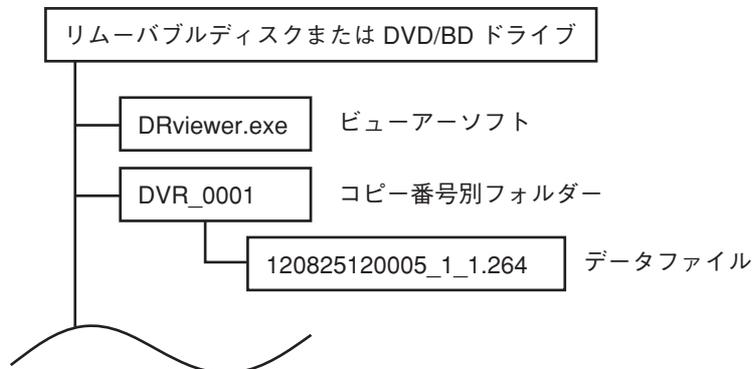


■ コピーしたデータを見るとき

● フォルダ構成とファイル名



ビューアソフト : コピー時にダウンロードされる専用のビューアソフトです。

コピー番号別フォルダー : フォルダ内に映像データと音声データを1つのファイルとして保存します。USBメモリーにコピーする場合、コピー番号別フォルダーがあると、最も大きなフォルダ番号に1を足したフォルダを自動で作成します。フォルダ番号は、0001～9999となります。

データファイル : ファイル名はコピーデータの開始日時を表します。拡張子は“.264”です。コピー実行時に開始、終了日時を複数指定した場合は、ファイルを分けて保存します。USBメモリーにコピーする場合はファイルサイズが4GBを超えると、ファイルは分割されます。

(例) 12 08 25 12 00 05 _1 _1 .264
 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)

- (1) 年 (2000～2099:下2桁) を表します。例は、2012年を表します。
- (2) 月 (01～12) を表します。例は、8月を表します
- (3) 日 (01～31) を表します。例は、25日を表します。
- (4) 時 (00～23) を表します。例は、12時を表します。
- (5) 分 (00～59) を表します。例は、00分を表します。
- (6) 秒 (00～59) を表します。例は、5秒を表します。
- (7) コピー番号 (1～5) を表します。例は、画像コピー画面の開始1のコピーであることを表します。
- (8) ファイルの通し番号を表します。ファイルが分割された場合に、番号に1を足したファイルが作成されます。

● ビューアーソフトによる再生

PC でコピーデータを見る場合は、以下の手順で行ってください。

- 1** 記録した USB メモリーまたは DVD-R/BD-R を PC に挿入する。
- 2** PC のドライブから USB メモリーまたは DVD-R/BD-R を選択し、ダブルクリックする。
- 3** USB メモリーまたは DVD-R/BD-R 中のビューアーソフト (DRviewer.exe) を選択し、ダブルクリックする。
ビューアーソフトが起動します。
- 4** ビューアーソフトで再生したいファイルを選択し再生する。
ビューアーソフトについては、[P. 3-45](#) 「ビューアーソフト」を参照してください。

ビューアソフト

本機で USB メモリーまたは DVD-R/BD-R にコピーしたデータや Web ブラウザーでバックアップしたデータは、同時に保存されるビューアソフトを使って、PC で再生できます。

機能について

ビューアソフトの主な機能は以下のとおりです。

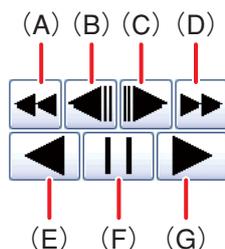
- 1 画面表示 / 多画面表示の再生
- 音声再生
- 一時停止画面の静止画保存 (JPEG 形式)
- 一時停止画面の印刷
- 任意のデータ範囲のバックアップ
- 改ざん検出



- ① ファイル表示 : 再生ファイルの保存先、名称を表示します。
- ② ファイル選択 : ファイル指定ダイアログ画面を表示します。再生したいファイルを選択すると、先頭の映像が一時停止表示します。
録画データがない日時やカメラを指定してバックアップしたファイル、異なる形式のファイルなどを選択した場合は、以下のエラーメッセージを表示します。
- 指定されたファイルは再生可能なデータではありません。
- ③ 再生制御 状態表示 : 現在の再生状態を表示します。

第3章 操作のしかた

- ④ 再生制御 ボタン : 一時停止、再生、再生×2、再生×4、再生×8、逆再生、逆再生×2、逆再生×4、逆再生×8などの再生操作をします。



- (A) 早戻し再生を行います。
押すごとに逆再生速度が2倍(×2)、4倍(×4)、8倍(×8)と変化します。
- (B) コマ戻し再生をします。
- (C) コマ送り再生をします。
- (D) 早送り再生をします。
押すごとに再生速度が2倍(×2)、4倍(×4)、8倍(×8)と変化します。
- (E) 逆再生します。
- (F) 再生を一時停止します。
- (G) 再生します。
- ⑤ カメラ番号 : 再生中のカメラ番号を表示します。
- ⑥ 再生日時 : 再生中の日時を表示します。
- ⑦ 再生スライダーバー : スライダーバーで指定した位置の再生映像を一時停止表示します。左端が最古位置、右端が最新位置で、最古日時と最新日時を表示します。
スライダーバーをドラッグすると、ドラッグした位置の日時情報が表示されます。
- ⑧ 画面切換 : 1画面表示、多画面表示を切り換えます。
メモ
カメラ10～16、4分割D、9分割B、および16分割ボタンは、9局用では表示されません。
- ⑨ 音声切換 : 音声出力するチャンネルを切り換えます。
再生中だけ出力され、再生速度を変更したときや逆再生中は出力されません。
メモ
音声録音されていないチャンネルはグレー表示になり、選択できません。
- ⑩ 音量 : 音声出力する音量をスライダーバーで調整します。右端が最大音量になります。
スピーカーボタン を押すごとに消音中 、出力中 が切り換わります。
メモ 最大音量はPCの設定音量になります。
- ⑪ デインターレーシング : あり/なしを設定します。解像度がD1(704×480)で録画されたデータを再生すると、動きのある映像に“くし状”のノイズ(インターレースノイズ)が発生する場合があります。「あり」にするとデインターレーシング機能を使用し、このノイズを除去します。
メモ TOA製プログレッシブカメラは、インターレースノイズが発生しないため、デインターレーシング機能を使用する必要はありません。
- ⑫ バックアップ : 任意のデータ範囲をバックアップできます。保存したファイルはビューアソフトで再生できます。バックアップのしかたは、P.3-47「バックアップのしかた」を参照してください。
- ⑬ フルスクリーン : 表示している映像を全画面で表示します。PCのESCキーを押す、または、マウスで画面をクリックすると全画面表示を解除します。全画面表示中は、ほかの操作を受け付けません。

- ⑭ 静止画保存 : 再生一時停止中の1画面、多画面映像をJPEG形式で保存します。静止画保存のしかたは、P. 3-49「静止画の保存のしかた」を参照してください。
- ⑮ 印刷 : 再生一時停止中の1画面、多画面映像を印刷します。印刷される内容は、表示画面映像(カメラ番号含む)、再生日時、DVR名、カメラ名です。

■ バックアップのしかた

- 1 再生を行い、バックアップを開始する日時に一時停止する。
- 2 開始日時ボタン  をクリックする。
一時停止中の再生日時が開始日時に設定されます。
- 3 再生を行い、バックアップを終了する日時に一時停止する。
- 4 終了日時ボタン  をクリックする。
一時停止中の再生日時が終了日時に設定されます。
- 5 映像を設定する。
「カメラ1」～「カメラ16」と「全て」からカメラを選択します。(9局用は「カメラ1」～「カメラ9」、「全て」から選択できます。)
- 6 音声を設定する。
なし：音声データをバックアップしません。
あり：すべての音声チャンネルの音声データをバックアップします。
- 7 バックアップボタン  をクリックする。
ファイル保存画面を表示します。
ご注意 開始日時と終了日時を逆に入力している場合は、バックアップボタン  はグレーになり操作できません。正しく設定してください。
- 8 ファイル保存画面で保存先フォルダーとファイル名を設定し「保存」をクリックする。
バックアップ中は進捗バーを表示します。
バックアップ中は、ほかの操作を受け付けません。キャンセルボタンをクリックすると、バックアップを終了することができます。



バックアップが完了すると、以下のメッセージを表示します。

バックアップを完了しました。

第3章 操作のしかた

メモ

- ファイル名は、任意に変更できます。
- ファイル保存画面で最初に表示されるファイル名には、日時、映像および音声情報が含まれています。

ファイル名

(例) 20120720120000 _20120720131530_1_on.264
(1) (2) (3) (4)

- (1) バックアップデータ開始日時（西暦年月日時分秒）を表します。
例は、2012年07月20日12時00分00秒を表します。
- (2) バックアップデータ終了日時（西暦年月日時分秒）を表します。
例は、2012年07月20日13時15分30秒を表します。
- (3) 映像情報を表します。「00」の場合はすべて、それ以外は選択されたカメラ番号（1～16）。例は、カメラ1を表します。
- (4) 音声情報を表します。「on」の場合は音声あり、「off」の場合は音声なしです。
例は、音声ありを表します。

● エラーメッセージについて

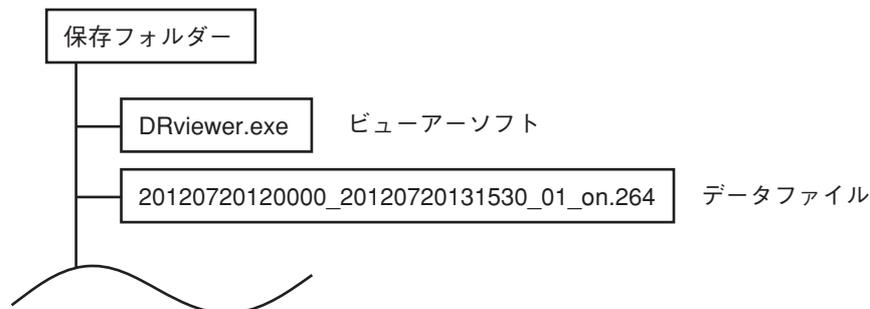
保存先の空き容量が不足している可能性があります。バックアップを実行しますか？

バックアップ開始時に保存先の容量とバックアップするデータの容量を確認し、バックアップするデータ容量が大きい場合に表示されます。バックアップの開始位置、終了位置の日時やバックアップするカメラを再設定する、または別の保存先に変更するなどしてください。
また、メッセージが表示されてもバックアップを実行することはできます。

ファイルの保存に失敗しました。

- バックアップするデータの読み込みまたは保存に失敗した場合に表示されます。
- PCのアクセス制限で書き込みが禁止されているフォルダーを保存先に指定し、保存に失敗した場合に表示されます。書き込み可能なフォルダーを選択する、または新規フォルダーを作成して、作成したフォルダーを選択してください。
- 保存先の容量いっぱい書き込まれて、バックアップが途中で終了した場合に表示されます。このとき途中までバックアップしたデータは再生できます。
- FAT32でフォーマットされたUSBメモリーなどにバックアップを行い、データファイルサイズが4GBを超えてバックアップが終了した場合に表示されます。このとき、途中までバックアップしたデータは再生できます。

● フォルダー構成とファイル名



- ビューアソフト : バックアップ時にダウンロードされる専用のビューアソフトです。
- データファイル : バックアップした映像データと音声データを1つのファイルとして保存します。拡張子は“.264”です。

■ 静止画の保存のしかた

1 再生を行い、静止画保存したい映像で一時停止する。

2 静止画保存ボタン  をクリックする。
静止画保存画面が表示されます。

3 静止画保存画面で保存先フォルダーとファイル名を設定し「保存」をクリックする。
静止画を保存します。

メモ

- 保存内容は画像のみです。
- ファイル名は、任意に変更できます。
- 静止画保存画面で最初に表示されるファイル名には、日時、DVR名、画面情報が含まれています。

(例) 12 08 25 12 00 05 _1_CAM01_DVR.jpg
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

① 年 (2000～2099：下2桁) を表します。例は、2012年を表します。

② 月 (01～12) を表します。例は、8月を表します

③ 日 (01～31) を表します。例は、25日を表します。

④ 時 (00～23) を表します。例は、12時を表します。

⑤ 分 (00～59) を表します。例は、00分を表します。

⑥ 秒 (00～59) を表します。例は、5秒を表します。

⑦ 画像の識別番号を表します。

⑧ 保存した画面の種類を表します。

1画面の場合 : CAM** (**は、カメラ番号1～16)

4分割の場合 : 4* (*は、分割名A、B、C、D)

9分割の場合 : 9* (*は、分割名A、B)

16分割の場合 : 16

⑨ DVR名を表します。

● エラーメッセージについて

ファイルの保存に失敗しました。

- データの保存に失敗した場合などに表示されます。
- PCのアクセス制限で書き込みが禁止されているフォルダーを保存先に指定し、保存に失敗した場合に表示されます。書き込み可能なフォルダーを選択する、または新規フォルダーを作成して、作成したフォルダーを選択してください。

■ 改ざんチェックをする

ビューアソフトには改ざんチェック機能があり、再生中は自動的に改ざんチェックを行います。改ざんがあると以下の警告メッセージを表示し、再生を停止します。

データが改ざんされている可能性があります。再生を中止します。